

第4回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

日 時：令和4年5月27日（金）午後1時30分から午後3時まで

場 所：市庁舎5階 委員会室

委員出席者：【委員長】日本大学生産工学部建築工学科教授 廣田直行氏
【副委員長】公認会計士 吉田恵美氏
【委員】 千葉工業大学創造工学部建築学科教授 佐藤史明氏
習志野市芸術文化協会事務局長 三戸良子氏
習教研音楽部会相談役 市立第六中学校校長 横平佳子氏
（公財）ちば国際コンベンションビル代表理事 伊藤 稔氏
元千葉交響楽団理事長
特定非営利活動法人生涯学習応援団ちば理事 玉浦洋子氏
習志野市商店会連合会会長 高橋 賢氏

事務局出席者：政策経営部 部長 竹田佳司
次長 芹澤佐知子
総合政策課 課長 藤原友哉
係長 高橋宏明
主査 濱崎芳信
主任主事 大下恵
生涯学習部社会教育課 課長 越川智子
係長 吉井利江
主事 村上友規

議 事：会議次第
開会
第1 会議録の作成等
第2 会議録署名委員の指名
第3 議事
（1）パブリックコメントの結果報告について
（2）習志野文化ホール再建設基本構想（案）について
第4 その他（事務連絡等）
閉会

資 料：①習志野文化ホール再建設基本構想（案）に対する
パブリックコメントの結果報告【概要】
②習志野文化ホール再建設基本構想（案）へ頂いた御意見
③習志野文化ホール再建設基本構想（案）

委員提供資料：JR 津田沼南口地域開発の経緯と津田沼南口商店会の活動
津田沼南口商店会防犯カメラ設置図

第4回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

議 事 録 :

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 及 び 決 定 事 項
廣田委員長	<p style="text-align: center;">会 議</p> <p style="text-align: center;">開 会</p> <p>出席委員は、8名全員であるため、本委員会は成立した。</p> <p style="text-align: center;">議 事</p> <p>日程第1、会議録の作成等について諮る。</p> <p>会議録については、要点筆記とし、会議名、開催日時、開催場所、出席者氏名、議事事項、会議内容、発言委員名及び所管課名を記載したうえで、非公開の議事事項を除く記録について、本市ホームページ及び市役所グランドフロアの情報公開コーナーにおいて、公開することについて諮り、了承を得る。</p> <p>日程第2、会議録署名委員の指名について、佐藤委員及び高橋委員の指名について諮り、了承を得る。</p> <p>日程第3、議事（1）パブリックコメントの結果報告について （2）習志野文化ホール再建設基本構想（案）について <資料①～③に基づき事務局より説明></p> <p>追加として、先程パブコメの概要を説明したが、この内容と重複して、私のところに、習志野芸術再生プロジェクトの代表 中島悦子様から、要望書という形でまとまった資料が届いている。後ろに、40数名の賛同者の名簿と一緒にいただいている。内容については、パブコメの内容と重複しており、それからはずれているところはない。</p> <p>事務局の方に渡しておくので、参考資料としていただきたい。</p> <p>それでは、ただいま説明のあった、事務局のパブコメの結果報告についてご意見ご質問等があったら、いただきたい。関連して、基本構想の方に関連しても構わないが、まずはパブコメの方を中心にご意見いただきたい。</p>
吉田副委員長	<p>パブコメの一番最後の方にも記載されているが、ライフサイクルコストの試算について質問させていただく。</p> <p>財政面の心配が市民にも多いのかと思っている。現習志野文化ホールは、冒頭にある通り1978年竣工で、まだ44年というところで、40年以上というのは確かに長いといえば長いですが、利用者にとっては、音響も十分であるし、まだまだ綺麗じゃないかというところでの、再建設へのもやもや感もあるのかなと。</p>

第4回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

<p>事務局 (藤原課長)</p> <p>廣田委員長</p>	<p>前回の建設の時には、総工費は 26 億円であったが、今回、候補地にもよるが、それぞれかなり大きな金額が想定されている。</p> <p>最初にかかる工事の総工費だけではなく、その後のライフサイクルコストという点から、現文化ホールが 44 年に対して、今は新しく公共施設を建てると 80 年から 100 年と言われている中で、どうしても民間施設だとそれほど長い期間使えなくなり、早い段階で次の再建設を検討するようなことも今後出てくるのかなという点を心配している。</p> <p>その辺りについて、市として、少子高齢化、人口減少社会というところも踏まえ、将来世代に過度な負担を先送りしないことについてどのように考えているのか。</p> <p>まず、本基本構想 5 ページ目のところに、今ご質問いただいた建設費の概算ということで、100 億円規模に上るということをお示ししている。</p> <p>それらを受け、6 ページ目の基本方針の中で、吉田副委員長のご意見の通り、将来世代に過度な負担を先送りしないということで、事業費の圧縮に努めていきたいということを示している。</p> <p>その中で市としても、今回、敷地候補地の検討ということで、旧庁舎跡地と、JR津田沼駅の再開発に伴う部分とを比較検討しており、やはり再建設に伴う市の財政負担という部分は、非常に重要なことであると認識している。</p> <p>財政負担の検討にあたって、建設費という部分のみならず、やはり今後、再建設、再整備していくにあたって、例えば国庫補助金の獲得であったり、そういった部分で事業費を圧縮するということであるとか、また建てたことによる税収効果とか、経済波及効果、そういったことを含めて将来の財政予測ということは、非常に大切なことだと考えている。</p> <p>現在もいろいろ検証検討を進めているが、委員からのご指摘も踏まえ、引き続きしっかりと検証検討していきたいと思っている。いずれにしても先程申し上げたとおり、基本方針で示したように自立的都市経営の推進、持続可能な財政構造の構築、また将来世代に過度な負担を先送りしないということが大切である。事業費の圧縮という部分は、非常に大切なことだと認識しているため、そこは引き続きしっかりと検討検証、協議を進めていきたい。</p> <p>また、ライフサイクルコストについては、どういうホールを建てるかということ、どれぐらいの規模で建てるかということを検討しているところであり、運営に関するコストがなかなか試算しづらいところがある。</p> <p>ただ、今後、長きにわたって運営していくということであれば、そのライフサイクルコストという視点は非常に大切な視点だと思っている。長期的な視点で運営面に対しても、あまりコストがかからないようにしていくということについて十分配慮した中で、計画の策定、設計を進めていくということは大変重要なことだと認識しているため、引き続き検討する。</p> <p>少し補足させていただくと、建築界でライフサイクルコストと言われていた</p>
------------------------------------	---

第4回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

	<p>のは一時期前で、例えば、目安として 60 年もつということ、60 年間にイニシャルコストでどのぐらいかかると、ランニングコストでどのぐらいかかるというような試算はする一方、海外の事情からすると、もたせようと思ったら何年でももつという、イニシャルコストに限らず、修繕や営繕の仕方によって、例えば、ある特定の建物に対しどのぐらいもちますかと聞いたら、もたせようと思ったら 300 年でも持ちますよという回答が出てきたという、そういうような状況である。</p> <p>当然、イニシャルコストでどういう材料を使うかということについても変わるが、そのイニシャルの予算組みをした後に、ライフサイクルコスト 60 年間の経費を見て、例えば V E、要は減額措置を図るだとか、バランスを調整するとか、そういうことは、これから大きな課題になってくると思われる。</p> <p>今の段階では、世の中自体が不確定な状態で、あまり金額が意味のないものになってきているというのが、今の建築界の社会情勢ということで、補足説明する。</p>
吉田副委員長	<p>素人質問かもしれないが、海外では古い建物が残っているが、日本はどうしても湿気や地震などの特有の事情があるため、なかなか建物が長くもたないとよく見聞きする。その点は、考慮する話ではないという理解でよろしいか。</p>
廣田委員長	<p>今説明したのは、つい先日のアメリカでの話である。石の文化のヨーロッパとは違うところの、高層ビルの話で説明させていただいたが、タワーマンションとか、日本では、どうやってメンテナンスするんだみたいなことが、話題になっているが、メンテナンスしだいで技術はどんどん発達しているので、基本的には、そんなに心配されることはないのではないかと思う。</p>
玉浦委員	<p>パブリックコメントの意見を読んで感じたが、こんなにもこの現在のホールに皆さん愛着を持たれているのかなということ、改めて自慢のホールだったのだなと。例えば音響面、それからアクセス、ロビーからの眺望とかパイプオルガン、木の温もりとか、それから 1 階のワンスロープ、あと緞帳にも思いがあった。そしてもう一つ注目すべきはまちづくりの観点からも考えられていたということで、その点でも意見が多かったように思う。ぜひ、これまでのホールと遜色のないものを作っていただければ、とあらためて思う。</p> <p>さて、質問だが、パブコメが行われている最中、この建物の空白期間に私たちはどこで活動すればいいのか、という質問がよく私のところにも寄せられた。</p> <p>学校関係の方も多分同じ思いだと思うが、これは各団体の方で、自由に自分の責任で探さないよということなのか、市の方で何か動かれているのか、その辺の状況をお聞きしたいということが一つ。</p> <p>それから、これは非常に答えにくいかもしれないが、この後の工期とかそれに伴う空白期間、いわゆるスケジュールはどのように考えられているのか。建設場所により相当違ってくると考えられるが、例えばこの後、何年から何年か</p>

第4回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

<p>廣田委員長</p>	<p>けて基本構想や基本設計をやり、そのあと実施設計というふうに行くわけだが、その間に、またさらに市民の声を聞いてくださる余地はあるのか、この2点をお聞きしたいと思う。</p>
<p>事務局 (越川課長)</p>	<p>工期の問題と、工事中の活動場所の問題について、事務局から説明を求めらる。</p> <p>活動場所がなくなってしまうということを、各団体の皆さん非常に心配されている。少ない人数と集客の中で活動されている団体については、プラッツ習志野は300人のホールだが、そちらで引き続き活動していくと言っている団体もある。大きな人数を集客している団体については、やはりこの閉館期間が大きな問題になっている。</p> <p>近隣のホールは市民優先予約等の問題もあるため、私どもの方からも近隣に働きかけをし、予約を取らせていただきたい、ということをお願いしているが、なかなか難しい問題である。やはり市民の方の利用が優先ということもあるため、そういった中で近隣、都内というところも広げた中では、市内市外を分けずに予約を18ヶ月前から取っているようなホールもあり、そういったところをご案内したり、団体がお集まりの会議の中では、そういったものを一覧表にしてお示しをし、そちらの中であたってみていただき、ご相談をさせていただくような対応をとっている。また、今後は正式に教育委員会から文書を出し、予約についてもお願いをするということを考えているが、なかなか実効的には厳しい問題もあるかと思っている。そういった中で、近隣のご協力をいただきながらというところである。</p> <p>ただし、他のホールでも改修期間等はある。直近では市川市も改修しているが、そういった中で、特にお願いを私たちの方へなされたことはないし、市川市の方もこちらからお願いする中では、皆さん同じような形でやっているのと同じようにルールの下でやっていただくのが、本来の取り扱いではないかというような、厳しいご意見もいただいているところでもある。</p> <p>ただし、皆さんの活動場所ができるだけ確保できるように、私たちとしてもお願いを続けていきたいと思っている。</p>
<p>事務局 (藤原課長)</p>	<p>それでは工期とスケジュールのご質問について、お答えする。</p> <p>今後の再建設という部分にあたって、JR津田沼駅南口周辺の再開発、それに伴っての状況であるが、今後の工期、スケジュールについて具体的なものは、まだ示されていない。</p> <p>ただ野村不動産、再開発事業者からは、以前には令和7年度以降から、解体を始めていくということが示されている。</p> <p>それに伴い、現在、文化ホールについても老朽化の問題があり、令和5年度以降の予約を中止させていただいたという実情がある。</p> <p>令和7年度以降解体という中で、その後のスケジュールは、まだ具体には示されていないが、JR津田沼駅南口での再建設となると、解体の後に再建設と</p>

第4回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

玉浦委員	<p>ということになるため、そのスパンとしては、5年から7年というような期間ということは想定できるのかなど。</p> <p>一方で旧庁舎跡地について、こちらは市有地で、ご承知の通り現在解体をし、更地にしているという状況である。こちらは、建設にあたって、解体は必要ないため、建築期間ということだけになる。ただし、旧庁舎跡地については、文化ホールが建てられるような都市計画にはなっていない。そのため、都市計画決定の変更、都市計画変更する手続き等が、1年2年要するため、現在地のJR津田沼駅南口の開発に伴う工期と、旧庁舎跡地での建設工期であれば、1年とか、その程度の差であると認識している。</p> <p>少し細かいことを伺うが、現在の場所に再建とされた場合に、例えば一斉に閉館というのではなくて、順番に解体していく等、できるだけその空白期間をなくしていくような、そういう工夫を考えられているのかどうかということ。</p> <p>一方、市役所跡地に建てる場合には、その都市計画の変更が必要との事であるが、時間がかかっても必ずなしうるものなのか。結局変更できないということになることはあるのか。</p>
事務局 (藤原課長)	<p>まず、JR津田沼駅南口再開発に伴う解体作業等工程については、先程申し上げた通り、具体的なものを民間事業者からいただいていない状態であり、解体がどのようなスケジュールでいくかということは、お答えができない。</p> <p>それから、都市計画の変更においては、やはり周辺の住民の方々等のご理解、また市全体のまちづくりということも考え、いろいろと審議会にお諮りをしたり、また検討協議をしたりという手続きがある。</p> <p>このため、市の方である程度こういう方向のまちづくりだということを定め、周辺の住民の方のご理解が必要であるため、実現できる範囲で進めていくというのが、都市計画の変更の前提になると思われる。最初に駄目だということではなく、その前段で、周辺住民の方のご理解をいただきながら進める。</p>
廣田委員長	<p>おそらく、段階的な解体、そして建設というのは、仮設工事で工事費にはね返ってきてしまう。その辺りも、全体をどうやって進めるかということが関係してくるため、事業者と検討しなければならない。</p> <p>都市計画の変更については、市がやろうとしているのだから簡単にいこうと思われがちだが、それを簡単にやってしまうと、住民を排除しているというようなことにもなりかねない。そのため、しっかり今回のパブコメのように、住民の意見とすり合わせながら進めるということとなると、住民側との調整にも時間を要する。あとは、建設の進め方として、基本構想がまとまって、コンペにするとすれば、コンペの案を作って、要綱を作って実施した後、基本計画、基本設計、実施設計、施工となるので、計画段階の方が造るより時間がかかるということだけご理解いただければと思う。</p>
高橋委員	<p>1月に開催された会では、JR津田沼駅がよいというご意見が多かったように感じている。</p>

第4回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

<p>廣田委員長</p> <p>佐藤委員</p> <p>事務局 (藤原課長)</p> <p>廣田委員長</p>	<p>ところが、4月5日の千葉日報の報道によると、2候補地が出ている。</p> <p>駅の力が全く違うため、比較にならない。それと、周辺環境整備、これがまた大変なことだなど、旧習志野市役所跡地、それから市の財産が文化ホールを含めて他のもので使われてしまったら、あの財産が他に使えなくなるというデメリットもある。</p> <p>まず、利便性とか、それからご利用なさる人たちの喜びというか、心の豊かさだとかを確保するためには、やはりJRの駅近の方が、いいサービスとなり、皆様のご理解をいただけるのではなかろうかと思う。</p> <p>本日、資料をまたお持ちした。JR津田沼駅南口地域開発の経緯と津田沼南口商店街の活動ということで、約50年間、私はこの商店会長をやっている。</p> <p>昭和24年の8月20日には、中学校の3回生として、椅子とテーブルを持って引っ越した。思い出の地であり、22名の所有者もいるが、文化ホールを建てるからということで納得し、600メートル西方に第一中学校は移った。ここから文化ホールを外したら、商業施設を建てるために、仮の姿で文化ホールを利用したのかという、習志野市に対する与信も傷つく。それ以上に、こんな好立地、それはわずかな権利であるが、それを利用しないのかなど。放棄するというのは、市民としては大変な損害である。</p> <p>先程説明があったように、もたせる気ならば、60年でも70年でももたせられる。いざとなれば、スケルトンにして、もう一度というやり方もある。知恵を絞り、早期に位置付けをはっきりしてもらった方がいいだろうと。それで、計画が早く実施できるように、市民全員で応援する。</p> <p>モリシアの解体、それから建設についても、地域を挙げて協力していこうという考えがある。交番の前にパイプオルガン風のモニュメントがある。それからJR津田沼駅からモリシアに入る時に、公園に入って両サイド、パイプオルガン風の広告塔がある。それらも全部、やはり文化を高めたいという考えがあり、質の高い人たちに一緒に高めてもらって、良いまちをつくっていききたいなど、本当にそういうことで、活動しているしだいで、ご理解いただきたい。</p> <p>高橋委員からは、前回も同様のお話をいただいているため、各委員にはご理解いただいていることかと思われる。</p> <p>引き続き、パブリックコメントについて意見がなければ、次の基本構想も含めて意見をいただきたい。</p> <p>基本構想のバージョン19ができ上がり、先程の説明だと、パブリックコメントを反映してということであった。パブリックコメントを反映された部分が、この赤字になっているということか。</p> <p>パブリックコメントを受けて修正した箇所もあるが、意見の多くは、この基本構想案で示している内容に対してのもの、また、要望が多かった。</p> <p>パブコメは、今、説明があった通りである。</p> <p>こちらの構想案は、この委員会で意見調整したものである。</p>
---	---

第4回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

佐藤委員 廣田委員長	<p>パブコメについては、こういう意見があったが、我々の議論した内容と、さほど問題がなかったという報告であったと理解している。</p> <p>そのため、これに反映しているかどうかということ以前の扱いだと思う。先程のパブコメの説明としては、これに振り替えるようなところが、さほどなかったのではないかという説明だったと思われるため、基本構想は基本構想でのご意見いただければと思う。</p> <p>基本構想を振り返らなければいけないようなコメントは、本当はないか。</p> <p>パブリックコメントというのを、例えば一つ反対意見が出ると、それをまた、一つずつ審議するというわけにはいかないとと思われる。</p> <p>それを取り上げた方がいいものがあるかどうかのご意見を、今いただいているという認識である。これは重要なことなので反映すべきだということがあれば、ご意見をいただきたい。</p>
佐藤委員 廣田委員長	<p>基本構想について、記憶が少し曖昧なのだが、座席形式とステージ形式は、どこかで決定したのか。</p> <p>意見だけいただいて事務局でまとめていただいたと思う。少なくとも、総論としては、今あるホールに準ずるという意見が大勢だったので、音楽に特化したというものではなくて、市民活動を継続できるホールの形式というような、そういうまとめ方だったと記憶している。</p>
佐藤委員	<p>専門的なシューボックスがどうのこうのとか、フライタワーがどうのこうのとか、そういう具体的な話ではなかったと記憶している。</p> <p>具体的なことはないほうがより良いとは思いますが、そうしたときにはワンスロープというのは具体的じゃないのかなと思った。</p> <p>今あるものに準拠したということであれば、もうそれだけでいいような気もする。</p>
廣田委員長	<p>ワンスロープという表現の仕方が書きすぎだということか。ご意見としてはワンスロープを外した方がいいというものでよいか。</p>
佐藤委員	<p>いや、ここでそうしましょうと決定されるのであれば、それでもいいが、決定されたのかという質問である。</p>
廣田委員長 事務局 (竹田部長)	<p>議事録等あれば、ご説明いただきたい。</p> <p>前回までの会議を含めて、お答えを申し上げたい。ワンスロープの形式、さらには座席数についても、当初 1,500 席というところから、若干、1,200 席から 1,500 席という幅を持たせたような書き方になっているが、こちらについては、委員会としてはその方向でというふうに、決定という言い方がいいかどうか分からないが、一つの方向性を示していただいたと理解している。</p> <p>実際に構想を固め、そしてさらには基本計画、基本設計、実施設計という中で、若干変わる可能性は当然まだあるため、その点をご理解いただきたい。</p> <p>基本構想の段階では、一つの方向性として、ここまで理解いただいていると思っている。</p>

第4回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

廣田委員長	あくまでも、この段階は、我々は決定する権利のある委員会ではないため、基本構想をまとめるという段階として認識している。
吉田副委員長	手元に、前回までの構想案を持っているが、P9(2)課題の解消・改善 ウ、座席の改善・形状の中で、今赤字になっているのは場所を変えたことによる赤字である。ずっと示されていて、皆さん、そこに齟齬は特段出ていなかったという認識でよろしいか。
廣田委員長	標記の順番でよいか。
吉田副委員長	なので、突然ワンスロープという単語が出てきたわけでは決してなく、我々も拝見していたものかなと。
廣田委員長	多分、佐藤先生もそれをご理解の上での、要はワンスロープというのが、今出てきたことではなくて、書き過ぎではないかというご意見だと。
佐藤委員	ステージ形式ともリンクする可能性も有るので意見をした。
廣田委員長	前からあったことはあった表現である。
佐藤委員	それは理解している。
廣田委員長	変更した方がいいという案があれば。
佐藤委員	今回、キャパを減らすことはここで議事で決めたと記憶している。
廣田委員長	基本構想案は、全体を通してご説明いただいていると思う。順番を前に持ってきたから目立った感じはあるかもしれない。
三戸委員	ワンスロープかどうかということは、何度も審議もされたと記憶しているし、私もそれがよろしいかと思う。その中で、私が前も申し上げたが、区分使用ができないかと思っている。無理かとは思いますが、パブリックコメントの中でも、何回か拝見させていただいたが、ワンスロープの場合に、途中で仕切るとか、空調を別にとというのがあったため、それはぜひ検討していただきたいと思う。
伊藤委員	この検討委員会が、何かを決めるものでなく、検討委員会として、こうしたらいいんじゃないかということ、市長あるいは市の執行部にお伝えする場だという認識でいる。 そういう中では、前回座席数については1,200席から1,500席、設計をする中において、或いは利便性を考慮した中で、減るのはやむを得ないのではないかというのが、全員の意見だったのではないかと考えている。 その上で、候補地の問題だが、候補地については基本構想の中では2件が示されていて、前回、高橋委員から現在地が一番適当だろうというお話があり、それから玉浦委員から先程も、過去の市民の思いというものを言っていた。それから私の方からは、やはり都市計画事業への市の参画ということ、借地権しかないという中での参画、あるいは防災面、大災害時の帰宅困難者への対応、それから駅からの市の入口の問題だとか、いろいろ考慮すると、再開発事業へ参画していくという中では、何か借地権を生かして事業をやっていくのが適当だろうと。その場合、新たに他の施設というわけにはいかないの、

第4回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

<p>廣田委員長</p>	<p>文化ホールをここで再建設するのが適当であるのだろうと思う。そういうことでこの本委員会では、意見の一致を見ているものについては、それが適当であるということで、候補地については、現在の JR 津田沼駅南口が最適であるということで、意見の集約を図ってはどうかというのが一つである。</p> <p>それから、そのために野村不動産とどういうやりとりをされているのか、建物の概要が見えないのでよくわからないが、JR 津田沼駅南口であれば容積率は 600%であり、それを 800%にすることはないと思っている。だから 600%の中で、大規模なタワーマンションを作ってしまうと、売れば儲かるわけだから、そういうものがない中で、商業施設だけでいこうとしているのか、事業者の中心である野村不動産は、どういうものを作ろうとしているのか、それは市の方とどういう話がされているのか。若干教えていただきたい。</p> <p>それから、パブコメの中では、再開発事業というのは、なかなかわからない人にも丁寧にご説明をいただければと思う。</p> <p>また、もう一つ大きな項目として、パイプオルガンの設置がある。</p> <p>パイプオルガンについては、私は音楽についてそんなにうんちくを語るほどではなくて、どちらかというあまり興味がないが、パイプオルガンに思いがある人は、大変重要なものだということは当然わかるが、それを大切なものだから、習志野市がなぜ 1 市でこれからも維持していかなくてはいけないのかということである。例えば、パイプオルガンの専門家の方々とかその愛好者の方々からどういう意見をいただいているのか、それから市の基本構想の中にも書いてあるように、クラウドファンディングをやる動きがあるのか。そういう動きがあってやはり、音楽のまち習志野としてみんなで支えていきましょと、そういう合意形成を得るための、もう少しパイプオルガンに突っ込んだものが、皆さんの合意を得るには必要なんじゃないかと思う。</p> <p>ちょっと多くなって申し訳ないが、そんなところでお願いできればと。</p> <p>一点目の、本委員会で合意しているものは、積極的にアピールしたほうが良いということについては皆さん同様の意見だと思うが、後ほど私から提案させていただきます。</p> <p>野村不動産との検討状況については、分かっている範囲で簡単に説明をお願いしたい。</p>
<p>事務局 (藤原課長)</p>	<p>現在、JR 津田沼駅南口周辺再開発ということで、野村不動産と協議をしているところである。実際、私ども市の都市環境部で市街地再開発事業ということで協議をさせていただいている。</p> <p>その中で、まだ具体には規模的なものとか、そういったところはまだ協議中ということである。基本的には、商業系の商業施設、それから、オフィスとか業務系の施設、住居系の施設、それと文化ホールというような形の複合施設で再開発をしていく計画である。また、目の前にある国有地の公園、それから駅前広場、これらを含んだ形で再開発事業を推進していきたいということで、提</p>

第4回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

<p>廣田委員長</p> <p>事務局 (藤原課長)</p>	<p>示いただいて協議をしているところだが、具体の部分は承知してないところで、まだ協議中ということもあり、決まってないという状況で伺っている。</p> <p>パイプオルガン等の特定の事については、話し合いを行っていないということか。伊藤委員はもう少し丁寧な住民合意形成が必要じゃないかというご意見だったと思うが、それはこれから必要になってくることかもしれないが、今の段階ではそんなに進んでないという理解でよろしいか。</p> <p>その理解で良い。この基本構想を策定していく前段で、様々な団体の方からヒアリングを行って、その中でもパイプオルガンの必要性、そういったものも確認をしてきた。ただその状況の中でも、やはり、今、伊藤委員がおっしゃる通り、必要だというご意見もあれば、利用の頻度等も踏まえる中では、不要ではないかという意見もあり、二分されているような状況である。</p> <p>基本構想にも記載しているが、そういった状況なので、パイプオルガンという部分では、色々な団体の方からヒアリングしており、現状は、広く市民の方々に伺うということとはしていない。</p>
<p>廣田委員長</p> <p>佐藤委員</p> <p>廣田委員長</p> <p>佐藤委員</p> <p>吉田副委員長</p>	<p>他に、どうしても変更した方が良いという項目はあるか。</p> <p>私の勘違いも多々あったが、このままで良い。</p> <p>この通りでよいか。</p> <p>はい。</p> <p>1点だけ確認させていただきたいが、子どもたちの利用というものを重視し再建設というのは、皆さんの合意かと思うが、子どもたちの移動手段として現状の地はターミナルの駅であり、いろいろな手段がある一方、京成津田沼になるとその辺は厳しくなるのかなというところを、横平委員にお伺いしたい。現状、児童や生徒たちが使われるときには、徒歩圏内の学校であれば徒歩で移動されているのだと思うが、少し離れた習志野市内の児童や生徒たちは、どのように移動されているか、どちらの方が利便性高いか、そういったものがあるのかなのか。学校からバスを借りて移動しているのであまり関係ないというお話なのか、状況を皆さんと共有できたらと思うが、ご存知の範囲内で教えていただけたらと思う。</p>
<p>横平委員</p>	<p>学校については、大きな行事として市内の小中音楽会というのが、今年は7月14日に開催されるが、それは全部の学校からの代表の生徒の参加になる。その際は、市の教育委員会から貸切りバスを出してもらっているもので、徒歩で行ける学校については徒歩で、貸切りバスを利用したい学校については、そちらを提供していただいている。</p> <p>中学校は、合唱コンクールで必ず年に1回、全校生徒が舞台上に乗れることになっているが、こちらについて交通費は、それぞれ自己負担になっているため、一中、五中は徒歩、それから本校(六中)のような学校は、バスや京成などを利用しており、中学についてはそれぞれということになっている。</p>
<p>廣田委員長</p>	<p>質疑はこの程度にとどめさせていただきたい。</p>

第4回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

<p>事務局 (藤原課長)</p> <p>廣田委員長</p> <p>事務局(藤原課長)</p> <p>廣田委員長</p>	<p>伊藤委員からお話があったので、私の方から候補地という部分についての考え方ということで、ご説明をさせていただければと思う。</p> <p>私の方から提案させていただくことではまずいか。</p> <p>それで結構である。</p> <p>基本構想として、これをこの委員会のまとめとして提出させていただくが、今回、我々には、伊藤委員がおっしゃっていたように決定権が無い。</p> <p>ただ、せっかく皆さんの意見をまとめたので、この委員会で意見書として、簡単に市に提出するのはどうかと考えており、事務局と少し相談して、委員会からの意見案というものを作らせていただいた。よろしければ、この委員会で見たいと思いますが、配布させていただいてよいか。</p>
<p>一同</p>	<p>よい。</p> <p>(事務局にて、資料配布)</p>
<p>廣田委員長</p>	<p>簡単に、重要と思われることを、市に対して意見案ということでまとめさせていただいた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、習志野文化ホール再建設基本構想(案)については、これまでの本委員会での各委員の意見を踏まえ、概ね了承します。 2、敷地候補地については、基本構想(案)の基本方針にあるよう、習志野市基本構想における自立的都市経営の推進、持続可能な財政構造の構築を踏まえ、将来世代に過度な負担を先送りしないよう、事業費の圧縮等が実現できるのであれば、現在地のJR津田沼駅南口に再建することが望ましい。 3、市民の文化芸術活動を推進するためにも、再建設にあたっては、工期の短縮等に努め、習志野文化ホールの閉館期間を可能な限り短くすること。 4、バリアフリーについては、ホール内だけでなく、ホールに到達するまでの動線についても、可能な限り配慮すること。 5、現在、舞台だけでなく、ホワイエ等も利用し、市民文化祭や習志野市美術展覧会なども開催されていることから、華道、絵画、写真等の展示場所の確保にも配慮すること。 <p>と、5点を意見書として提案したらどうかという案なのだが、これについてご意見をいただきたい。</p>
<p>伊藤委員</p>	<p>2番目について、事業費の圧縮が実現できるのであればという事だが、ここまで限定してしまうと、事業費の圧縮ができなければやるなというふうを読むが、そういうことか。今、建築資材が高騰していること、多分、金利もこれから上がるだろうから、公債費も相当上がっていくのであろうという中で、ここまで書いてしまうと、やるなと言っているのと同義語ではないかと思う。</p>
<p>廣田委員長</p>	<p>そういう意図はない。例えば事業費の圧縮に努めるとか。</p>

第4回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

伊藤委員 廣田委員長	<p>努めるとか、配慮しながらというくらいでないと、逃げ道がないかなと。</p> <p>今回、パイプオルガンのことも含めて例えば、「市民活動の記憶を大切にすること」とか、そういうものを入れてもいいのかなと思ったが、案の中では総論として、この五つにまとめさせていただいた。</p>
吉田副委員長	<p>市民の文化活動で、子どもたちがこの期間使えないと、高校を卒業するまでこのまま文化ホールに登壇できない子たちが多くなる。その点はより市民全体のことも考えつつ、特に学校利用というものを大事にしてきた文化ホールというのは、意見表明の中に入れての方がより伝わるのかなと思った。</p>
廣田委員長 吉田副委員長	<p>閉館期間を可能な限り短くするとある。</p> <p>4番のところに、市民というのを、より具体的なイメージができる、特にお子さんたちも重要視しているというのが、メッセージ性として重要だと、この委員会では思った。</p>
伊藤委員	<p>3番を2番に持ってきて、敷地の前に、今おっしゃったように、習志野文化ホールで、これまでに子どもたちのいろいろなものが培われてきて、そこで習志野の音楽が育ってきたということを、少し入れながら、文化ホールは引き続き同様の建設が必要だということを訴え、そういうのが2番目にあり、3番目に敷地の話でいいかなと思う。今の話は大変重要である。</p>
吉田副委員長	<p>今も、谷津小や一中のこども音楽コンクールでの文部科学大臣賞受賞の大きな横断幕等が市庁舎に貼られているがそういった地方公共団体はなかなかない。</p>
伊藤委員	<p>あのホールで色々なものが育まれてきたということを入れていただくとよろしいかなと。</p>
廣田委員長	<p>それでは、少し文言訂正を入れさせていただき、諮問いただいていないのに、意見書を出すのは僭越だが、意見書という形で出させていただくことについてはよろしいか。</p>
吉田副委員長	<p>基本構想案だけだと、我々結局何をどういう方向で話したのかがわかりづらかったので、よろしいのではないか。</p>
廣田委員長	<p>それでは、事務局と調整して、文言をもう少し入れ替え、重要度において入れ替えと、過度な表現にならないように、記載させていただく。</p>
伊藤委員	<p>とって、これ以上大きくなると困る。</p>
吉田副委員長	<p>過大なものになっていくと、またそこはしっかりと財政面を見ていただきながらだと思う。</p>
廣田委員長	<p>それでは、本日の議事は大体出揃ったが、本日のまとめになるので、どうしても最後、ご発言があればいただきたいと思うが、よろしいか。</p>
吉田副委員長	<p>来年度から習志野文化ホールが使えない期間に入ってしまうので、その間は学校利用というのは、プラッツ習志野で行っていく方針となるのか。</p>
廣田委員長	<p>活動の場所について見解を求める。</p>
事務局	<p>基本的には学校で活動場所を検討いただくが、体育館の活用が、一応基本に</p>

第4回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

(越川課長)	<p>なると思われる。またその中で、プラッツ習志野を使っていただくということも、学校の判断で行っていただくといったような方針になっている。</p>
廣田委員長	<p>習志野は三つの大学もあるため、音響的にはあまりよくないが、練習の場所とか、活動場所としては、習志野市の方から、お願いして、使わせていただくような道を作っていただくというのは、一つあるかと思う。幸い千葉工大と日大の委員がいるので、東邦大にも働きかけできる先生方も、たくさんいるため、お声掛けしていきたいと思う。</p> <p>また、社会教育施設もあるかと思うので、公民館、コミュニティセンターですね、その辺、対応を図っていかなければ、なかなか6、7年という期間は長いため、全市を挙げて協力体制をとっていければと思う。</p>
三戸委員	<p>よろしいか。</p> <p>本当にぜひそれをお願いしたい。この7、8年で、市内で何も活動ができないということは、本当にいろいろな団体がなくなってしまうか心配であるため、ぜひどこかでできるようにお願いしたい。</p>
廣田委員長	<p>それでは、質疑はこの辺にとどめさせていただきたい。</p> <p>いただいた意見を含め意見書の内容については、私預かりとし、後日、市へ提出させていただきたいと思う。</p> <p>以上で、日程第3の議事を終了させていただく。</p>
廣田委員長 事務局 (竹田部長)	<p>続いて日程第4、その他として、事務局から何かあれば。</p> <p>本日4回目ということであるが、この基本構想(案)に対する貴重なご意見をたくさん頂戴し、感謝申し上げます。今後については、この後、総合政策課からスケジュールについて、ご説明申し上げたいと思う。私の方から少しまとめの意見という中で、ご案内を申し上げます。</p> <p>習志野文化ホールは、皆さんご承知の通り、昭和53年、市民の文化活動の拠点ということで、当時はやはり社会教育団体の要望、市民文化活動に対する熱い思い、こういった中で、先ほど高橋委員からもあったが、第一中学校の移転に合わせて、コンペという形で、当時は国電津田沼駅というふうに言ったが、JR津田沼駅南口の開発というものを実施したと。このコンペの中で、文化施設を取り入れる。ストレートに言えばもう文化ホールを必置という形の中でそこに誘致をしたということであるため、私どもとしては、本当に文化ホールを大切に育て上げてきた施設だというふうに認識している。</p> <p>このことが、今日まで小中学生さらには高校生へ輝かしい歴史伝統を築いてきたものと考えており、そのみならず、市民の文化芸術活動の醸成、発表の場、さらには、成人式など市民の人生の節目の行事の場、こういう中で多くの市民の皆様が親しまれ続けている施設ということである。</p> <p>本来、この基本構想のまとめの中で、スペック等々につきまして、非常に多くの意見を頂戴し、確かに最後まで意見として、今あった通り、パイプオルガ</p>

第4回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

<p>事務局 (藤原課長)</p>	<p>ンをどうするのか、そして敷地候補地をどうするのか。この辺については少し奥歯にもものが詰まったような形になってしまった。</p> <p>パイプオルガンについては、やはり全国でも、これだけの規模の再設置というものは例がないという中で、基本的には、コスト的、費用対効果というのが、なかなか計りづらいような状況になっている。</p> <p>今後もしできれば残したい、私どももシンボルという形の中で残したいという気持ちはあるが、やはり財源確保という観点も非常に大事であり、そこは私どもなりに、いろいろな角度での財源確保も検討する中で、引き続き検討ということでご理解をいただければと思っている。</p> <p>そして敷地候補地については、やはりどちらかに絞るような形で記載をしたいところだが、それぞれにメリットデメリットがあるということについては、皆さんご理解いただけたかと思うし、それぞれの地が、立派に建設候補地になりうるということをご理解いただいていると思っている。</p> <p>いずれにしても、この建設候補地、これまで多くのご意見を頂戴するとともに、両候補地の比較検討、これも私どもなりに十分進めているところである。財政的な部分であったり、あとは税収面であったり経済効果であったりということも含めて、十分検討を進めている。</p> <p>今後、再開発を検討する事業者との交渉において、そこは市が最終的に判断をしたいと考えているため、ご理解いただきたい。</p> <p>本日まで、ご意見をいただき感謝申し上げます。</p> <p>本日は、長時間にわたり様々なご意見をいただき感謝申し上げます。今後のスケジュールということで、私からご案内をさせていただく。</p> <p>今後については、まずは1点目、本日、ご案内したパブリックコメントにお寄せいただいた意見に対する回答について、市の方で取りまとめのうえ、公表手続きをしていきたいと考えている。</p> <p>また、本日の会議を持って、本委員会における基本構想（案）という部分については、現段階の部分でまとめさせていただいてと思っている。</p> <p>また先ほど、委員長からご提案のあった意見書を添えて、私どもの方でお預かりをしたいと思っている。</p> <p>それを受け、今後、6月下旬になるかと思うが、庁内の部長級等の会議である文化ホール再建設基本計画等策定委員会にて、本日議論いただいた基本構想（案）、また、委員長の意見書、これを踏まえ、協議をしたい。</p> <p>それを経て、最終的には、市の庁議へこの基本構想を諮り、策定をするという予定でいる。</p> <p>策定した暁には、委員の皆様にも、ご案内し、送付をさせていただく。</p> <p>昨年度から4回にわたり、この基本構想（案）ということでご意見を様々ないただき、感謝申し上げます。今回が4回目という会議だが、今後6月に基本構想を策定するというような予定を考えており、その策定した後に7月に、改めて</p>
-----------------------	---

第4回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

廣田委員長	<p>ご報告ということと、今後の再建設に向けたスケジュールということもあるため、改めて7月に第5回目の委員会開催を予定している。</p> <p>また後日、日程等調整させていただきたい。よろしくお願いをしたい。</p> <p>本日の日程は以上である。</p> <p>これをもって令和4年度第4回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会を閉会する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p> <p style="text-align: center;">閉 会</p>
-------	---